



1. マーケット・レート

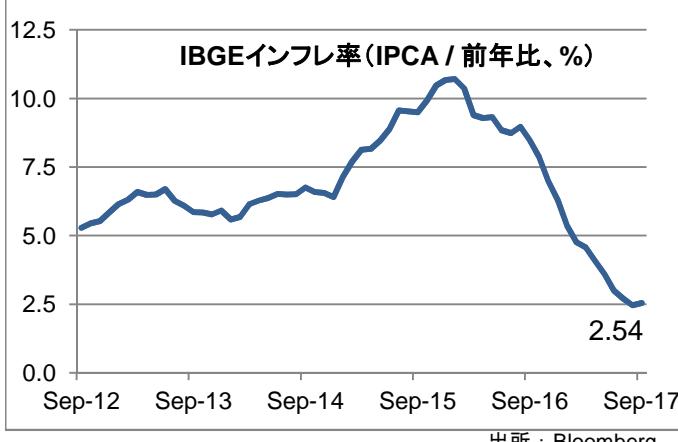
			10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1550	3.1440	3.1350	3.1540	3.1560	+0.0020
	BRL/JPY	Spot	35.73	35.90	35.96	35.79	35.70	-0.09
	EUR/USD	Spot	1.1736	1.1744	1.1762	1.1711	1.1731	+0.0020
	USD/JPY	Spot	112.73	112.87	112.74	112.83	112.65	-0.18
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.16	7.16	7.15	7.14	7.13	-0.0095
	Future	1Year(p.a.)	7.14	7.16	7.18	7.18	7.19	+0.0090
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.213	2.198	2.195	2.277	2.269	-0.008
	USD	1Year(p.a.)	2.378	2.378	2.344	2.375	2.409	+0.034
株式	Bovespa指數		74,359.81	76,762.91	76,591.44	76,617.53	76,054.75	-562.78
CDS	CDS Brazil 5y		193.14	188.20	186.11	184.88	185.65	+0.77
商品	CRB指數		180.909	180.898	181.291	182.943	180.955	-1.988

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデックスです。実際のレート提示は弊社担当アカウントオフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルはブラジル資産に対する前向きな見方を背景に3.12台へ上昇。
- 週初のレアルは3.1640で寄り付いた。伯政府が2028年満期の国債発行を発表したことが好感されてレアルは上昇。週半ばに週間高値となる3.1230まで買われた。その後、好調な米経済指標を受けてドルが主要通貨に対して上昇する中、レアルは3.15台まで反落。米雇用統計発表後には3.17台まで下げる場面も見られたが、北朝鮮を巡る動きからドルは上げ幅を縮小。結局3.1560で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.68%から0.70%へ、2018年は2.30%から2.38%へそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が2.97%から2.95%へ、2018年は4.08%から4.06%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.16、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 3日に発表された9月の伯鉱工業生産は前月比▲0.8%と5ヶ月振りのマイナスとなった。予想の前月比横ばいを下回ったが、市場の反応は限定的。業種別で低下したのは24のうち食料品など8業種に止まり、今後も国内外での需要回復が期待される中、特段のレアル売り材料とはならなかった。
- 3日、伯財務相は2028年満期の米ドル建て国債発行を発表した。政府は国外からの新たな投資獲得に対する自信を示唆。これを好感してブラジル資産が堅調に推移する中、ボベスパ指数は週後半に過去最高値となる78,024を付けた。
- 6日に発表された9月の米雇用統計は非農業部門の雇用者数が前月比3.3万人減となったが、2010年9月以来の前月比減少はハリケーンの影響と解釈された。平均時給の上昇が予想を上回ったことを受け、発表直後は米金利が上昇。ドルが買われる展開となった。

3.今週のチャート&ハイライト



9月の伯インフレ率は予想を上回る伸び

6日に発表された9月の伯インフレ率(IPCA)は前年比+2.54%と市場予想の+2.47%を上回り、8月の+2.46%からも伸び率が上昇した。前年比の伸び率が前月実績を上回るのは2016年8月以来。食料価格の下落が減速したほか、7月に発表された燃料に対する増税が影響した。但し、引き続き伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0%-6.0%)を下回る水準となる中、市場の反応は限られた。6月時点の金利先物市場が織り込む次回COPOM(10月24-25日開催)での利下げ幅は約0.75%、12月の会合は約0.42%となっており、今次利下げサイクルで政策金利は7.00%程度まで低下すると予想されている。



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

来週のレアルは揉み合う展開を予想する。ブラジル資産に対する前向きな見方が引き続きレアルをサポートすると見られる一方、米雇用統計を受けて年内の追加利上げ観測が高まるドルも堅調な動きが見込まれ、レアル相場は動きづらい状況が続くものと予想される。

来週は国内で8月の伯小売売上高が発表される。インフレ低下による実質賃金の上昇や労働市場悪化に歯止めがかかることが消費の回復が期待されており、結果に注目したい。また国外では10月中と見られる米FRB議長の後任指名を巡る動きに注意を要する。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.09%	0.16%	0.19%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	2.47%	2.54%	2.46%
米	非農業部門雇用者数変化	80k	-33k	156k
米	失業率	4.4%	4.2%	4.4%
米	平均時給(前月比)	0.3%	0.5%	0.1%
米	労働参加率	62.9%	63.1%	62.9%
米	卸売売上高(前月比)	0.0%	1.7%	-0.1%
米	消費者信用残高	\$15.540b	\$13.065b	\$18.499b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/9	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Sep	0.50%	0.24%
ブラジル	10/9	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Sep	-1.12%	-1.61%
ブラジル	10/9	FGV CPI IPC-S	Oct 7	0.11%	-0.02%
ブラジル	10/9	貿易収支(週次)	Oct 8	--	--
ブラジル	10/11	FIPE CPI-週次	Oct 7	0.08%	-0.02%
ブラジル	10/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Oct	0.47%	0.34%
ブラジル	10/11	小売売上高(前月比)	Aug	0.3%	0.0%
ブラジル	10/11	小売売上高(前年比)	Aug	4.4%	3.1%
ブラジル	10/11	広義小売売上高(前月比)	Aug	0.8%	0.2%
ブラジル	10/11	広義小売売上高(前年比)	Aug	8.8%	5.7%
米	10/12	PPI 最終需要(前月比)	Sep	0.4%	0.2%
米	10/13	消費者物価指数(前月比)	Sep	0.6%	0.4%
米	10/13	小売売上高(除自動車/前月比)	Sep	0.9%	0.2%
米	10/13	ミシガン大学消費者マインド	Oct	95.0	95.1
米	10/13	企業在庫	Aug	0.6%	0.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。